

領 解 文

もろもろの雜行雜修自力のこころを
ふりすてて 一心に阿弥陀如来 われ
らが今度の一大事の後生 御たすけ候
へとたのみまうして候ふ

たのむ一念のとき 往生一定御たすけ
治定と存じ このうへの称名は 御恩
報謝と存じよろこびまうし候ふ

この御ことわり聴聞申しわけ候ふこ
と 御開山聖人御出世の御恩 次第相
承の善知識のあさからざる御勸化の
御恩と ありがたく存じ候ふ

このうへは定めおかせらるる御掟
一期をかぎりまもりまうすべく候ふ

釋 ○○